

富津市社会教育委員会議会議録

1 会議の名称	平成21年度第3回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成21年11月17日 午後 3時00分～午後 4時05分
3 開催場所	富津市役所502会議室
4 審議等事項	(1) 第10回富津市生涯学習推進大会の開催について (2) 富津市第3次基本計画策定に係る「市民会議」委員の推薦について
5 出席者名	(委員) 小泉清治、黒岩功充、坂本秀則、稲村重夫、小泉とき、三辻和夫、諸岡善藏、綾部雅喜、高橋栄二 (事務局) 渡辺教育長、吉原教育部長、春木生涯学習課長、村石生涯学習課主幹、當眞主査、小川主事、羽山非常勤一般職
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当(理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

第3回 富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
(事務局) 春木課長	(本日の会議が、委員定数15名のうち、出席9名、欠席6名のため会議の成立を説明。平成21年度第3回富津市社会教育委員会会議の開会を宣言)
(委員長) 小泉委員長	(小泉委員長挨拶)
(事務局) 渡辺教育長	(渡辺教育長挨拶)
(事務局) 村石主幹	(会議資料の確認)
(事務局) 春木課長	<p>議題に入るが、富津市情報公開条例により本会議は公開となるため、会議録を確定する必要がある。議題に入る前に、会議録署名人の選出について協議して頂きたい。</p> <p>これより議事の進行については、小泉委員長にお願いしたい。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>議題に入る前に、会議録署名人について協議する。今回は私と稲村委員で署名にあたりたいがどうか。</p>
委員一同	異議無し。
(議長) 小泉委員長	<p>それでは、私と稲村委員に決定する。</p> <p>続いて議題に入る。議題(1)第10回富津市生涯学習推進大会の開催について、事務局からの説明を求める。</p>
(事務局) 村石主幹	<p>第10回富津市生涯学習推進大会の開催について説明する。</p> <p>この議題については、前回の会議において説明させていただいたが、その後11月12日に行われた第2回生涯学習推進協議会において、変更のあった項目等について説明し、改めて開催要項についての承認をいただいた。その変更点について説明する。</p>

<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>(以下、第10回富津市生涯学習推進大会資料にて説明。 1 ページ目 第10回富津市生涯学習推進大会開催要項)</p> <p>1番の趣旨から4番の主管までは、前回会議と変更はない。5番の期日については、前回の会議資料では1月31日(日)予定となっていた。これは、当初予定していた2月7日では講師の小泉武夫氏の都合がつかず、スケジュールを調整中であったためである。その後、講師と調整が整い、1月31日(日)に決定した。6番の会場と7番の大会テーマの変更はない。</p> <p>8番の日程については、12時15分から12時45分までが受付である。12時45分から13時15分に、教育委員会表彰が行われる。ここでの司会進行は教育部山中次長が行う。</p> <p>次に13時20分から13時35分までがオープニングとなる。前回の会議において、オープニングは昨年と同じく2組という説明であった。オープニングの1組は、ここ何年かは公民館サークルや学校関係が多かったため、今回は文化協会に依頼することとなった。</p> <p>もう1組については、14時05分から14時20分のところに記載してあるが、オープニングではなく実践発表を15分間行うこととなった。</p> <p>なお、実践発表ということで、オープニングとは性格が異なるため、開会式の後に行う。</p> <p>ここで、実践発表の内容について、春木課長から説明する。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>実践発表の内容について、説明する。</p> <p>(以下、会議資料「富津市の「食」を考える研究大会ご案内」、「めざまし朝ごはんでパワーアップ」により説明。)</p> <p>後ほどまた説明があるが、本市では栄養教諭を中核とした食育推進事業を本年度文部科学省委託事業として実施している。内容は、資料「めざまし朝ごはんでパワーアップ」にあるとおりである。</p> <p>詳細についてだが、本市の学校栄養教諭、学校栄養職員7名による食育指導員が、本市17校の児童生徒の食育について指導を行っている。テーマを「子どもの健康を保持増進し、望ましい食習慣を形成するための方策」と「各教科等における食に関する指導を充実させるための方策」の2点設けて、取り組んだ状況を15分程度で実践発表してもらう予定である。題目は要項に記載されているとお</p>

<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>り、「栄養教諭を中核とした食育推進事業」である。</p> <p>なお、当日は言葉で説明するだけではなく、プロジェクターを使って投影をしながら説明を行う。また、入口付近にパネル等の展示を予定している。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>何か質問はあるか。</p> <p>さきほど説明があったように、先般生涯学習推進協議会会議が行われ、大会の内容については決定している。確認の意味で質問を受ける。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>若干、補足させていただきたい。</p> <p>後ほど村石主幹から説明するが、今回予定している講師の小泉武夫さんは発酵学者で著名な方である。演題は、「食の安心安全とこれからの食生活」と決まった。この演題に決まった時、先ほど説明した委託事業が「富津市の食を考える研究大会」であったため、内容が合っているということから、実践発表を行おうと考えた。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>内容について、何か気になる点はあるか。</p> <p>前回から教育委員会表彰が取り入れられたが、講演を聞きに来たが時間が早過ぎたという声があった。表彰式があるなら、その時間がわかるようスケジュール表を出してほしいという意見もあり、今回はそれに対応してうまく運営していけると思う。</p> <p>質問がないようなので、事務局に説明の続きをお願いしたい。</p>
<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>オープニングの終了後の13時40分から14時00分までは、開会のことば、主催者あいさつ、来賓祝辞である。前回の会議でも説明したが、開会のことばは、生涯学習推進協議会長である大野泰代会長、主催者挨拶は生涯学習推進本部長である佐久間市長が行う。来賓祝辞は国会議員の浜田議員、中後議員、県会議員の吉本議員、市議会議長の鈴木議員に依頼する予定である。</p> <p>そして、この後に先ほど説明した実践発表が行われる。</p> <p>14時30分から16時00分の講演については、「食の安心安全とこれからの食生活」と題して、発酵学者・文筆家である小泉武夫さんに講演をいただく。</p>

<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>最後に16時00分に、閉会のことばを生涯学習推進副本部長である渡辺教育長が行い、終了となる。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>何か質問はあるか。 ないようなので、議題(2)富津市第3次基本計画策定に係る「市民会議」委員の推薦について、事務局からの説明を求める。</p>
<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>(以下、会議資料「富津市第3次基本計画策定に係る「市民会議」委員の推薦について(依頼)」により説明。)</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>このように、社会教育委員小泉清治委員長あてに「富津市第3次基本計画策定に係る「市民会議」委員の推薦について」の依頼文が届いている。推薦人数は1名と聞いているので、委員の選出についてよろしくお願ひしたい。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>1名を選出ということだが、社会教育委員が担当する部分は学校教育に関することだそうである。自薦他薦問わないが、どうか。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>本日はお見えになっていないが、学校現場で活躍されている飯野小学校校長の三富委員が適任ではないかと思う。現場の意見をこの計画の策定に反映していただきたいので、三富委員を推薦する。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>坂本委員から、三富委員を推薦するという意見だが、他の委員はどうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>それでは、三富委員に決定する。 議題については以上とする。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>続いて、会議次第の4番報告に移る。 10月6日に行われた①君津地方社会教育委員連絡協議会の移動研修について、事務局から報告をお願いしたい。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>私もこの移動研修に参加させていただいた。ごく簡単に報告させていただく。10月6日に四街道市へ行った。行先はおもちゃ図書館</p>

(事務局)
春木課長

館とおもちゃ病院で、これらは四街道市の社会福祉協議会のボランティアの方々が運営しているそうである。ハンデのある子、ない子を共に育てることを目的としており、我々が行った時は図書館で活動をしていた。他にも、公民館などで活動をしているということである。図書館といっても、月に1、2回おもちゃを手作りし、心のふれあいをしていくことを目的としている。

もう一つは、おもちゃドクターで、時々テレビなどにも取り上げられるが、壊れたおもちゃを直して使えるようにし、子どもたちの物を大切にすることを育むことを目的としている。四街道はニュータウンということで、首都圏に近く、退職された方たちもいろいろな方がいる。大工さんからIT関係の仕事をしてきた方まで、さまざまな職種の方がおり、ドクターとして登録されている。ほとんどのものを直してしまうということで、図書館や公民館などを回って、無料で子どもたちのおもちゃを修理している。

おもちゃの修理に関しては見ることはできなかったが、おもちゃ図書館については、実際に木で作ったおもちゃやビー玉などが展示されているのを見る事ができた。

あともう一つは、「わたしの田舎」谷当工房で、これは千葉市若葉区にある。地元の名士の方が、里山や農業を守っていかなければならないということで、自宅でさまざまな体験活動を行っている。その方はいろいろなNPOにも参加しており、里山の保全の難しさなどについて話を聞いた。その工房ではそばを作っており、昼は手打ちそばをごちそうになったり、ティータイムに招いていただいたりして過ごした。その中で、そういった気持ちがあることが大切だということを実感した。以上である。

(議長)
小泉委員長

この社会教育委員の移動研修は、今まで4市の社会教育委員、公民館運営審議委員と公民館連絡協議会の3団体で行っていたが、昨年からは社会教育委員だけの単独研修で行っている。

今説明のあった、おもちゃ病院は何でも99パーセント直すそうである。専門店でも直らないものも直してしまうということで、なかなか優秀なスタッフが揃っており、人気があるようだ。

何か質問はあるか。

ないようなので、報告の②へ移る。第44回千葉県社会教育振興

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>大会が昨日行われ、私、黒岩委員、佐久間委員と春木課長の4名が参加した。黒岩委員からこの大会の報告をお願いしたい。</p>
<p>黒岩副委員長</p>	<p>今お話があったように、昨日4人で第44回千葉県社会教育振興大会に参加してきた。気づいた点からお話したい。</p> <p>千葉県社会教育委員連絡協議会の藤岡会長は昨年選任され、今年で2年目である。藤岡会長はあいさつの中で、社会教育委員の意識調査をしたところ、委員から現場に立つことが必要であるという回答を得て、これは非常によいことだと話していた。また、事業をマンネリ化させないことを重点に置いて、これから運営していきたいとのことで、張り切っている印象を受けた。</p> <p>あいさつの後に表彰があり、君津地区からは、木更津市のジェスパルという団体が、君津地方社会教育推進大会に引き続き表彰を受けた。</p> <p>また、パネルディスカッションがあり、コーディネーターは中山清志さんで、パネリストは習志野市の社会教育委員である鈴木良則さん、我孫子市の蒲田知子さん、八街市の林修三さんであった。時間は1時間であった。途中、私たち委員席からも発言を求められ、茂原市のある委員から、「いろいろとやってはいるが、最終的には予算がからんでくる。これに対しては、どうすればよいのか」という率直な意見があった。この意見は、コーディネーターの方が茂原市の方であったので、市に戻ってから検討しようということになった。</p> <p>今まで何回か参加しているが、今回の大会は行政側の腰が引けている大会だと感じた。大会の資料の中に「これまで行政が公的に提供してきた地域におけるサービスの縮小が進み、地域住民等が自らその役割を果たす状況が増えていくことが予想される」と書いてあり、要するにこれは予算が出ないということを行っているのだと、私は解釈した。</p> <p>その後、聖徳大学の福留教授の講演を聞いた。この方は、鹿児島県隼人町出身で国立鹿児島大学卒業、国立社会教育研究所教務課長、文部省社会教育官、九州女子大学生涯学習研究センター所長などを歴任し、現在は聖徳大学生涯学習研究所長に就任されており、生涯学習のエキスパートとして活躍されているそうである。この講演を聞き、いろいろな知識、情報を得ることができた。</p>

黒岩副委員長

しかし、富津に公民館ができた当時、婦人会、老人会や文化協会の事務所にするということで、各公民館に団体室ができたが、今では有名無実になっている。この大会を通じて、あの当時のそういった意気込みが、行政から消えていっていると感じた。それはなぜだろうかと考えると、やはり予算がないからということだろうと思う。

現代の豊かな生活は、技術革新のおかげだが、その技術革新にはそれなりにお金がかかっているものだ。それなのに予算を削ってしまっていて、公務員いじめのような状態になっている。そのせいか、どうも行政側の腰が引けているという印象を受けたので、付け加えさせていただき、報告とする。

(議長)
小泉委員長

私も藤岡会長が張り切っているという印象を受けた。行政の予算をあてにせず、自分たちでやろうという意識が出てきているように感じられた。今、黒岩委員の話にもあったように、政府の刷新会議で、社会教育に関する予算が一番先に削られるという寂しい事態だが、皆さんの知恵でこれを乗り切っていきたい。

何か質問はあるか。

ないようなので、③富津市民文化事業「ふつつ学びの門」について、私から説明する。

この「ふつつ学びの門」の事業は隔年で行われており、今年で4回目となる。3回目に行ったわらび座のミュージカルを、今回も予定している。12月13日(日)午後2時00分からの開演となるが、今チケットの販売を行っている。まだ、チケットが残っているので、委員の皆さんのご協力をお願いしたい。

内容は、松尾芭蕉のみちのくの旅ということで、俳句や秋田の民謡や郷土芸能が織り込まれている。先般11月1日の文化祭に、わらび座に来ていただき、パフォーマンスをやっていただいたが、チケットは1枚しか売れなかった。あと180席ほど売れなければ、原価が出てこないという状況である。委員の皆さんには、一人でも多くの方にミュージカルを見ていただくために、呼びかけをお願いしたい。

富津市ではミュージカルはなかなか人が集まらず、前回の時も、委員がそれぞれ割り当てを持ってチケットを売り歩いた。見に来ていただいた方は、全員が感激していた。アンケートでも、すべての

(議長)
小泉委員長

人がよかったという意見だった。そのため、またやってみようということになった。君津、木更津ではミュージカルは常識で、やれば人が集まるが、富津ではまだ見たことがない人が多い。富津もぜひとも文化教養を高めるために行きたいということだ。学びの門では、第1回、第2回の際は演歌歌手などを呼んだが、これには人が集まった。ミュージカルというとなかなか人が集まらないので、皆さんには呼びかけをお願いしたい。

④の成人式については、一昨年から日曜日の午後に行うようになった。今年も前年に引き続き、1月10日(日)の消防の出初式が終了した後、午後に成人式を行う。来賓は国会議員2名、県議会議員である。内容は、例年と同じように、今年も5中学校区から5名の成人が挨拶をし、中学生からお祝いの言葉がある。荒れる成人式が問題となっているが、富津は年々厳かな成人式になっている。また、富津の場合は中学、高校の恩師、父兄も出席するということで、非常によい式となっている。委員の皆さんには、ぜひとも出席していただきたい。

また、成人式も予算がないということで、近隣の市では記念品や写真等がなくなっているが、富津市は、写真についてはなんとか予算を捻出して続けようということになっている。以前、一度だけ予算の関係で写真をやめた年があったが、やはりあの写真は一生ものであるもので、これからも続けていってほしいと思う。この席でも改めて教育長をお願いしたい。

何か質問はあるか。

ないようなので、5番のその他へ移る。①富津市の「食」を考える研究大会について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)
春木課長

先ほども見てもらったが、「富津市の「食」を考える研究大会ご案内」と「めざまし朝ごはんでパワーアップ」が資料である。この富津市の「食」を考える研究大会については、学校の栄養士が中心となっており、11月26日の午後に佐貫小学校で行われる。これは主に学校の先生方を中心に案内を出しているが、それほど多い人数ではないので、皆さんにもぜひ参加してほしいとのことである。

内容は、資料にあるように、朝ごはんの重要性についてである。もしよろしければ、見ていただきたい。推進大会では、この内容に

<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>ついて15分間くらいで発表してもらっていることになっている。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>少し補足をさせていただく。</p> <p>学校栄養職員という職があるのはご存知かと思うが、平成17年に食育基本法ができて、その後で栄養教諭という職が法制化された。その栄養教諭は、今千葉県内では15人くらいしかいないが、そのうちの1人が佐貫小学校の藤田陽子さんである。県によっては栄養職員全員が栄養教諭になっているところもあるが、千葉県については10人と少しくらいで、その貴重な1人が本市にいるということだ。文部科学省でも、栄養教諭の職を作ったので、栄養教諭を中心とした食育の指導を進めたいと考えているようである。</p> <p>今まで栄養職員は学校給食の管理が主な仕事であったが、栄養教諭はそれにプラスして食育を推進するという仕事を行う。この藤田さんを含めて市内には7人の栄養職員がいるが、彼女たちは非常に仲がよく、いつも連携して仕事をしている。調理場の中というのは、若い栄養士さんと年配のベテランの調理師さんたちがいて、なかなか横の連携が取りにくい例があるが、本市についてはうまくやってくれていて、ベテランから若手までが非常によい仕事をしてきている。</p> <p>本市の学校給食は、昔から質が高いといわれている。事前申し込みが必要と記載されているが、直接行っていただいても大丈夫なので見ていただければありがたい。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>参加自由ということなので、ぜひとも見学に行っていたいただければと思う。</p> <p>何か質問等はあるか。</p>
<p>稲村委員</p>	<p>私は1学期に佐貫小学校で勉強会があり、この研究大会の講師の渡邊智子先生の話聞いた。食育について非常にわかりやすく説明してくださったので、勉強になった。時間があつたら、行っていただければと思う。</p>

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>勉強になるということなので、時間があったら参加していただきたい。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>もう一つ、付け加えさせていただく。生涯学習推進大会で、この栄養職員たちの活動を15分くらいで紹介させていただくが、もう一つ、農林水産省の関係で湊小学校が「食と農の体験活動」の指定を受けている。この湊小学校の活動についても、もしできれば生涯学習推進大会の会場でパネル展示のような形で紹介できると、小泉先生の講演と市内のいろいろな活動がマッチしてよい大会になるかと思う。また、これについて、準備をしてもらおうと考えているのでご紹介しておく。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>何か質問はあるか。 では、②富津市小中学校寄贈絵画作品展について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>(以下、資料の「富津市小・中学校寄贈絵画作品展（梅田哲男氏作品）にて説明。） この作品展は、11月14日から20日まで、市役所1階ロビーにて行われている。委員の皆様をはじめ、お知り合いの方にも声をかけていただき、この作品展へぜひ来ていただきたい。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>18点作品があり、市内17校へ1点ずつ寄贈ということだが、残りの1つは、教育委員会に寄贈ということか。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>8月の末頃に梅田先生が来てくださり、各学校に寄贈するつもりで同じ号数の絵を作っているということだったので、市内の学校は17校で、教育委員会にもう一枚お願いしたいということをお伝えした。 ただ、絵画なので、日の当たるところに置けない。庁舎の中に置けるところがあるかどうか検討しなければならない。なければ、教育委員会でもいただいた1枚は、公民館等でよい場所を探して展示したい。 お話をいただいた時は、日展19回入選であったが、今年その後</p>

<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>20回目の入選となり、よい機会となった。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>それらの絵画は、学校間で1年ごとに順番に回していくのか。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>梅田先生は、抽選をした後で作品を交換してもらうのは、自由にやってもらいたいとおっしゃっていたので、学校同士でそういった話が出てくるかもしれない。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>その他に何かあるか。 他にないようなので、以上で議長の役を降ろさせていただく。事務局にお返しする。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>(第3回富津市社会教育委員会議の閉会を宣言。)</p>